

### 紙面の紹介

- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

## 自然がいっぱい。生きもの好きの秘密基地

滴るような深い緑に囲まれた佐用町昆虫館。昨年3月に県立昆虫館としての37年の歴史に幕を降ろし、今年4月、NPO法人こどもとむしの会によって再オープンしました。4月～10月の土曜・日曜・祝日のみの開館ですが、8月13日～25日には神戸で特別展も。

### 佐用町昆虫館 佐用郡佐用町船越



佐用町昆虫館。NPO法人こどもとむしの会の正会員が開館日に交代で一日館長を務める

#### 子どもと自然が大好きな有志が運営

県立昆虫館の閉館後、地元住民による存続の訴えに後押しされ、昨年9月にNPO法人こどもとむしの会(内藤親彦理事長/神戸大学名誉教授)が設立。今年4月から佐用町昆虫館として、県立人と自然の博物館主任研究員の八木剛さんから「虫好き、自然好き、子ども好きの有志」によって、年間約70日のオープンと、会員持ち寄りの「宝物」の展示が行われています。

館内に「千種川生きものライブ」「むしの宝箱」「キッズコーナー」「スタディらぼ」「ベビールーム」、敷地内に「ほたるピカピカ池」「いもりクネクネ池」「おにぎりパクパク広場」「チョウチョひらひらハウス」。来館者は自由に過ごせます。

取材日、虫取り網を貸してもらった小学生が館の内外をウロウロ。「チョウチョひらひらハウス」の前で蝶の幼虫を見つけ、当日の館長・金子留美子さんにジャコウアゲハと教えられた子どもが、「むしの宝箱」の標本展示でその成虫を探していました。佐用町昆虫館では、子どもたちは思い思いに自然と親しみ、学んでいます。

#### 13日から「神戸元町・夏の昆虫館」

佐用町昆虫館の楽しさが神戸市元町で再現されます。生きた昆虫と標本、写真で、昆虫の不思議な世界を体験できる催しです。「むし好き集まれ!!むしむしクイズ大会」(16日13時～14時、要予約、50人)、「昆虫なんでも相談室」(22日・23日、10時～16時、自由参加)、「クラフトテープで昆虫を作ろう」(23日13時～15時、要予約、30人)のイベントもあります。

■8月13日(木)～25日(火)、10時～18時(25日は16時まで)、アートホール神戸(兵庫県学校厚生会館1F) / 無料 / ☎078(331)9968 兵庫県学校厚生会公益事業部



佐用町昆虫館 ☎0790-77-0103※開館時  
☎0790-82-2424教育委員会

入館料▶無料  
開館時間▶10時～16時  
開館日▶4月～10月の土曜・日曜・祝日  
※平日と11月～3月は閉園  
駐車料▶無料  
交通▶中国自動車道山崎IC、佐用ICから約25分



▲「千種川生きものライブ」



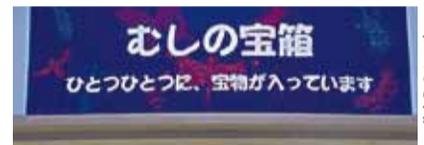
▲「スタディらぼ」には生きた昆虫が



▲いろいろな昆虫に触れて遊べる



▲「ほたるピカピカ池」の前で虫を探す



▲会員の宝物が持ち寄られている「むしの宝箱」



◀ギフチョウの蛹(さなぎ)



▲オタマジャクシもいる「いもりクネクネ池」